

青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和4年度 第204号 11月1日
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

今年も中学校のこまゆみ祭で義民太鼓が披露されました。保護者の皆さんからは「素晴らしかった。」「感動した。」という感想が多く聞かれました。そこで義民太鼓に参加した子どもたちが書いた【学んだこと、成長できたと思うこと、そして宮入さんをはじめとする保存会の皆さまへのお礼】を2回に渡ってお伝えします。



★2ヶ月と少しの間ありがとうございました。最初は大きな声を出して表現することや、太鼓を強く打つことができませんでした。しかし練習を通して義民を学ぶことができ、表現力を豊かにできました。僕は中心で重要な役をやってみて緊張したけれど、練習をしたことをいかしてかっこよくできました。場所の移動や配置を覚えるのが難しかったけれど、保存会の皆さまのおかげでだんだんできるようになりました。倒れるシーンでは、気持ちをこめて激しく倒れて見ている人に感動をもらうことができたと思います。最後に宮入さんをはじめとする保存会の皆さま、本当にありがとうございました。（3年男子）



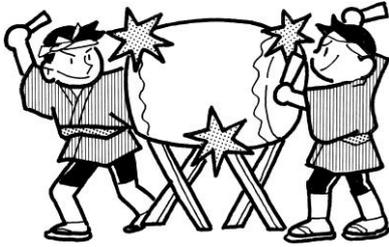
★この度はご多用中にもかかわらず大変お世話になりました。文化祭が終わった今でも太鼓に対する熱は抜けず水曜日が楽しみになっていました。今回の義民太鼓に参加する前までは、いとこが太鼓をやっているのを見てぐっとくるものがありました。「私も文化祭で義民太鼓をやりたい」と思っていました。そしてこの度自分が発表する側に立ってみて感じたことは、どの太鼓のパートも欠けてはならない、全部が義民であることです。つい「やあ〜」とやっている人を見てしまいがちですが、そうでない人も心ではその人たちのように演技しているということが分かりました。最後になりますが、くれぐれもお身体にはご留意ください。この度は誠にありがとうございました。（3年女子）

★7月からの約3ヶ月間、指導して下さった保存会の皆さま、本当にありがとうございました。義民太鼓を経験してみても義民の歴史や力強さに感動しました。はじめの頃はけがをしたり筋肉痛になってばかり



で大変でしたが、全力で取り組む楽しさや、できることが増える嬉しさ、団結力の向上が見られ、とて

も成長することができた貴重な3ヶ月間でした。私は腹筋が苦手で、なかなか最後まで打ちきれなかったけど、第7回の練習で、初めて最後まで打てるようになってとても嬉しかったことを覚えています。



本番でも、力強く打つことができました。諦めなくてよかったし、自分の限界を超えることができた活動でした。最後に、保存会の皆さま、最後まで全力で私たちを快く指導してくださり、ありがとうございました。練習を重ねるうちに堂々と打てるようになり本番では義民の気持ちで打てました。今までの経験をばねに、これからの生活も精一杯頑張ります。
(3年女子)

★私は義民太鼓を通して、相手へ感謝する心や時間を大切にすることなどを学びました。練習の終わりでは必ず周りにも礼をして「ありがとう」の気持ちを伝え、帰る時には、神様の所に礼をして帰るといったこともできました。宮入さんがいらっしゃる前には集合場所に集まって、てきぱきと準備を行って時間を大切にできました。そして聞いてくれているみんなにどう打ったら義民の心が伝わるか考えながら打つこともできました。もう太鼓を打つことは無いかもしれないけど、今回のこまゆみ祭で義民をみんなで作ることができてとても嬉しかったし、楽しかったし、おもしろかったです。私たちに義民太鼓を教えてくださいましてありがとうございました。(3年女子)

★保存会の皆さま、3ヶ月にわたりご指導してくださり本当にありがとうございました。最初は弱い音しか出せなかったり、リズムがとれなかったりしましたが、練習を重ねるうちに上達している自分がとても実感できました。腕を上げる高さや腰の位置、声の大きさなどの細かいところまで意識し、揃えることの大切さがとてもよく分かりました。宮入さんがおっしゃった「自分がいる位置関係なく全員が主役だ。全員が義民の心を持つんだ。」という言葉がとても印象に残っています。その言葉のように本番では全員が義民になっていたと思います。本番も腹筋がとってもきつかったのですが、そこで諦めずに最後まで丁寧に打つことができたのはとても自分の成長を感じました。初心者の方たちにとっても丁寧に最後まで指導してくださって、本当にありがとうございました。また会場の準備の時や片づけの時にたくさん助けてくださったことも本当にありがとうございました。今回の経験を経て太鼓がとても好きになったので何かの機会があったら保存会の皆さまの演奏をお聴きしたいです。(3年女子)

★私は義民太鼓の練習や発表を通して学んだことや成長できたことがあります。一つ目はあいさつと返事です。今まであまり意識してこなかったけど、練習を通してあいさつや返事の大切さを学びましたし、これからも相手に伝わるようなあいさつ・返事をしようと思いました。二つ目は最後まで諦めずに物事をやりきることです。最初の方の練習では、途中足や腕が痛くて諦めてしまっていたけど、諦めずに叩いたら少し達成感を得られました。本番の演奏も練習



で諦めずに叩いたので、演奏をすごく楽しめたとし、終わった後すごく気持ちがよかったです。普段の生活でも最後まで諦めずに物事をやりきることを実践してきました。そして今回私たちの義民太鼓の発表に向けてお時間を割いてくださった保存会の方々にとっても感謝しています。技術面だけでなく、人間という面でも成長できました。本当にありがとうございました。（3年女子）

★宮入さん、保存会の皆さまへ。この度はお忙しい中、私たち3年生のためにご指導していただきありがとうございました。第1回7月6日から始め、本番9月23日まで太鼓の打ち方や足の曲げ方など、沢山のことを教えていただき、日々の練習で努力をしました。本番では相手に感動していただけたと思います。成功することが出来ました。それは宮入さんや保存会の皆さまのお陰です。仲間と共に協力し助け合い、ここまで成長出来たことにとっても感謝しています。宮入さんが教えてくださった言葉を信じ、想いを込めて楽しみながら義民太鼓を打つことが出来ました。本当にありがとうございました。皆さまも体調に気を付けてお過ごしください。（3年女子）

★宮入さん、保存会の皆さまへ。この度はお忙しい中私たち3年生のためにご指導していただきありがとうございました。私は、小学校4年生以来で太鼓で打ち方などほとんど覚えていませんでした。ですが、保存会の皆さんが一から丁寧に指導してくださったお陰で、本番の太鼓は大成功でした。最初のうちは、手も豆だらけで筋肉痛もひどく、次の日の勉強は全くはかどりませんでした。徐々に慣れてきて太鼓を打つのがすごく楽しかったです。もう太鼓を打つことはないかもしれませんが、太鼓を通して成長した自分ではこれからは勉強を頑張ります。本当にありがとうございました。（3年女子）



★私たちに一から太鼓を教えてください、ありがとうございました。優しく時には厳しく丁寧に教えてくださいととても楽しかったです。太鼓は一人ひとりで打つのではなく、皆で協力して「音」「心」を合わせてやるのがとても大事だったので、自分勝手に打たないことを意識していました。桶に決まったときも立つタイミングや早さ、入るタイミングを合わせないと後の方が早くなってしまい、曲として成り立たなくなってしまうので、すごく意識するのが大変でした。桶は肩がとても疲れてきて肘が曲がって



しまうけど、昔の義民ももっと厳しいことをしてきたと考えると自然と腕が上がってきました。本番が終わった時に先生に「桶最初良かったよー」と言われました。でも個人的にズシッとしていたように感じました。納得のいくような本番ではありませんでした。練習から本番までの過程がとても楽しかったです。ありがとうございました。（3年男子）

★約3か月間お世話になりました。昨年や一昨年のように聴いている人を感動させられたのかはわかりませんが、打っていてすごく楽しかったです。太鼓を打つための基本姿勢のところから教わって、それぞれの場面やリズムを覚え通してやっていくにつれて、みんなの気持ちが一つになれてすごく感動しました。また、自分の気持ちも始めはおどおどしながら下を向いて打っていましたが、練習するにつれて集中して前を見ながらできるようになり驚きました。この体験で全員が協力して心一つにすることができるということを学んだし、夜遅くまで練習を見てくださった保存会の皆さまには本当に感謝しています。今までありがとうございました。（3年女子）



★保存会の皆さま、この度は義民太鼓をご指導いただきありがとうございました。練習時は、打ち方や「こう打つと打ちやすい」という姿勢などを教えていただいたり、途中でリズムがわからなくなってしまったときに隣で一緒に打っていただいたり、ありがとうございました。私は4年生のときの太鼓では、骨折していたため思うように打つことができず悔しかったので、今回は思うように打てて良かったと感じています。本番では苦手な腹筋の部分がうまくいきました。指導していただいたことにも気をつけながら義民にもなれたので、一番いい演奏ができて達成感がうまれました。本当にありがとうございました。（3年女子）

★まずは、こまゆみ祭までの長い期間本当にありがとうございました。当日全力を出しきることができました。私は「失敗を恐れるな。恐れていれば良い打ちはできない。」という言葉がとても印象に残っています。「失敗したら恥ずかしい」という気持ちが初日の練習からずっとありました。でもその言葉を聞いたときに「失敗することは悪いことじゃないんだ。」と思いました。それからの練習では失敗が怖くなくなり全力で打ち全力で楽しむことができるようになりました。痛みも疲れもありましたが、練習の最後には必ず笑えるようになりました。周りの目を気にするより、目の前のことに全力で取り組む方が楽しいし、かっこいいと思いました。今回「義民太鼓」を経験して「何事にも全力で取り組む」という点で成長できたと感じます。宮入さん、そして保存会の皆さま、短い間でしたが熱心にご指導いただき本当にありがとうございました。（3年女子）

★僕は、はじめ全然太鼓の打ち方が分からなく覚えられませんでした。けれどやっていくうちにダメなところを徹底的に教えてくださいました。それがきっかけで何回も間違え、そしてやり直すことのくり返して段々と伸びていけました。僕は、「おけ」という太鼓を使って打ちました。最初は音が全然響かなく左手で強く打つことが全然できませんでした。それに肘が段々下がってしまうなど色々な反省点があった中、次はそれをできるようにしようという思いで太鼓に臨みました。やっていくと段々解消されてできるようになっていきました。ありが



ありがとうございました。最後に宮入さんをはじめとする保存会の皆さま、ご指導本当にありがとうございました。（3年男子）



★この度は、私たちのこまゆみ祭の発表のために多くの時間をかけてご指導していただきありがとうございました。皆さまからは太鼓の打ち方のほかに私たちの心の面などもご指導いただきました。最初は太鼓や義民について知らないことばかりでしたが、今ではそれについて少しですが理解できたような気がします。そして、ご指導をいただく中で、自分の中にも変化を感じました。その変化は、積極的になることや自信を持つこと、感謝を忘れないなど、様々なものでとても成長することができました。今まで私たちに真剣にご指導していただき、本当にありがとうございました。（3年男子）

★今年は打ち手に太鼓を習っている人が一人も居ないという一からのスタートで大変だったと思いますが、最後まで丁寧に教えていただきありがとうございました。私は笛師でしたが、アドバイスをしてく



ださったり、上手く出来たら褒めてくださったりして、とても嬉しかったです。本番は練習やりハーサルの時よりもみんなの心が一つになり、わたしの中ではもう少しうまく吹けたかなという気持ちではありますが、とても良い演奏になったと思います。最後まで分かりやすく丁寧に教えていただきありがとうございました。（3年女子）

★7/6から9/23までの間毎回優しく指導をしていただきありがとうございました。太鼓をする前は「厳しいのかな」と思っていたのですが、そんなことはありませんでした。しっかり一つ一つ丁寧に教えていただき、毎回の練習で上達していくのが実感が出来ました。自分たちに足りないところは実演して見せてくださったり、言葉でも指導をしてくださったりして、とても分かりやすく参考になりました。太鼓をやっている方達の実演を見る経験もさせていただいて良い刺激になりました。太鼓以外のことでも大切なことをたくさん教えていただきました。自分たちのご先祖様が太鼓の中に入っていると思って本番は打つと言われたので、当日練習、本番はその気持ちで打ち一番良い発表が出来ました。ありがとうございました。（3年男子）

★義民太鼓保存会の皆さま、全ての練習で真剣に教えていただき本当にありがとうございました。自分は義民についてあまり知らなかったけど、義民太鼓を通して義民になりきり義民を知れたと思います。

自分は何度もミスをしてしまっている時に「失敗を恐れてはいけません。」という言葉に何度も救われました。それと同時に一番記憶に残っています。その言葉のお陰で自信がついたし、更に強く叩くことが出来ました。義民太鼓で自分で義民について考えて表現したり自分から挨拶をしたりと人間性を高めて自分自身成長できたと感じました。そして、練習の最後の最後まで修正した方がいいところやもっとこうの方がいいところなど教えていただいたり、当日も朝早くから指導していただいたり、本当にありがとうございました。



た。今回の義民太鼓で伝統を受け継ぐことができたと思います。これからの生活でも宮入さんをはじめとする保存会の方々の熱い言葉を思い過ごしていきます。義民太鼓を教えていただき、本当にありがとうございました。（3年男子）

★私は義民太鼓を通して改めて挨拶や礼儀の大切さを学ぶことができました。私が成長できたなど特に思うことは、返事の声です。始めの頃はあまりハキハキと返事ができていませんでしたが、練習を重ねていく中で、自分の意思を伝えるためには、返事がとても大事だということを学び、ハキハキと返事をするを心がけることができました。最初は自分たちのあまりの出来なさに不安を感じていました。キツいなと思っていたところも慣れていき、練習を重ねた分だけ上達しているように感じて、とても楽しんで練習に参加することができ、本番も楽しんで義民になって太鼓を打つことができました。とても基本的なことではありますが、義民太鼓を通して改めて学んだ挨拶や礼儀をこれからも大切にしていきたいと思います。宮入さんをはじめとする保存会の皆さま、ご指導いただき本当にありがとうございました。（3年女子）

★7月からの約3か月間、本当にありがとうございました。初め頃の太鼓の練習では基本的な打ち方やリズムなど学びました。第2、3回目の練習でテツをやらないかと宮入さんが直接声を掛けてくださり、とても嬉しかったです。ですが、いざ練習するとなると想像以上に難しく、最初は姿勢や打ち方などから教えていただきました。本番間近まで間違えてしまう所もあり、とても心配でした。速くなってしまっ所はありましたが、止まったり抜けたりすることがなかったのでとても嬉しかったし、良かったです。宮入さんをはじめご指導くださった皆さん、本当にありがとうございました。（3年女子）



編集後記 11月19日(土)に「第19回信州“教育の日”青木大会 YouTube live」が開催されます。内容は、学びの発表「～村の子どもは村で育てる～」 「義民太鼓への取り組み」や座談会「通学合宿がくれた宝もの」などです。ぜひご覧ください。

